

施工畦畔の維持・管理（1）

植付後の雑草管理（8月下旬～10月）

高刈り（10～15cmで雑草を刈り取る）

センチピードグラスが雑草で覆われないように適宜高刈りをおこなう。

定植1ヶ月経過頃が最初の高刈りの目安（雑草繁茂状況による）。

刈り取った雑草は必ず取り除くこと

ブロアー、動力散布機で吹き飛ばすと効率的



匍匐茎苗は活着後の生育がピット苗よりも早いので、雑草に負けにくい！
定植1ヶ月後の状況。雑草に負けずに旺盛に生育している。

張芝方式は、定植した段階でセンチピードグラスはひとつの群落になっているので、繁茂する雑草に覆われて生育が抑えられにくい。



雑草の多い畦畔に好適
標準施工よりも高刈り回数を減らすことができる

施工畦畔の維持・管理（2）

2年目以降の雑草管理（2年目の夏までの芝の被覆を目指して）

施工初年度、センチピードグラスが休眠に入るまでに3/4以上被覆できていれば、2年目の夏までにほぼ被覆できる。



ピット苗よりも良好な被覆状態を作りやすい



2年目の春は、雑草の発生状況を見て、適宜高刈りする。被覆状態が良好であれば、雑草発生量は少ない。

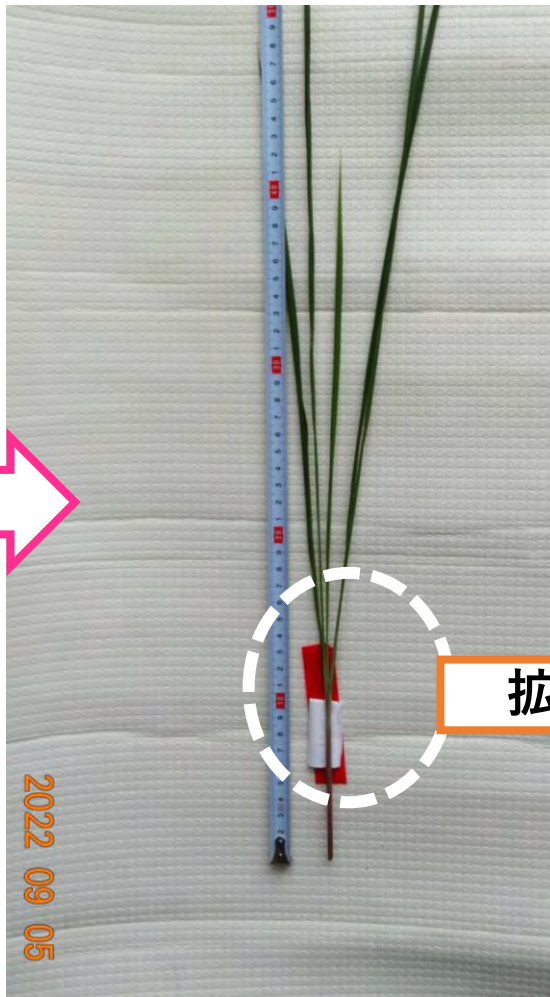
完成した被覆畦畔



(補足資料1)

チガヤ根絶茎処理法

ラウンドアップの茎処理



拡大

ラウンドアップ (25倍液)
をティッシュペーパーに吸着



(チガヤの茎に巻き付ける)

粘着テープ

匍匐茎苗の育苗 (6月中旬～7月下旬, 定植の前日までに)

① ランナーの採取



ランナー（匍匐茎）の先端
30cm程度を切り取る。
採取した匍匐茎は水を入れたバケツ
に入れ、切り口を水につけておく。

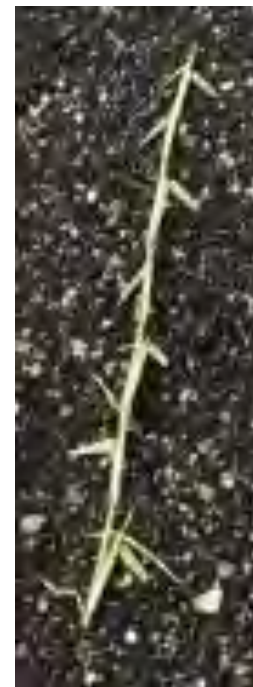


② 培養土を入れたイネ育苗箱にランナ植付け

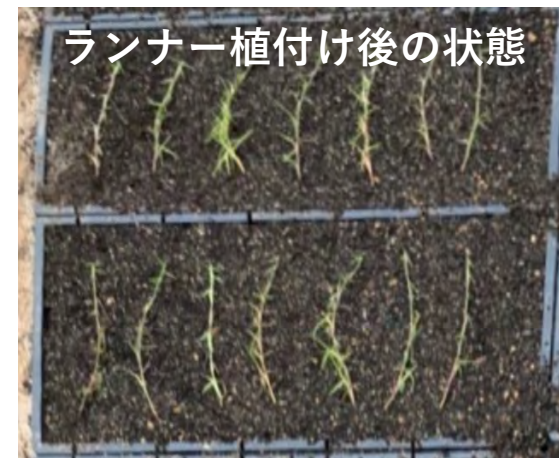


匍匐茎苗培養土の配合
(重量割合)
赤玉土：25%
鹿沼土：25%
エコ堆肥：25%
αグリーンの酵素25%

エコ堆肥：植物残渣堆肥（刈草、剪定枝、伐採木チップ等）
入手先（株）エコファーム <https://ecofarm-tottori.com/>
αグリーンの酵素（菌体特殊肥料）：発根と根の生育促進
入手先：？



切口をトレイ
底まで挿す



ランナー植付け後の状態

1箱：7本植が基本



先端から3葉目の節から発根するので、
この部位を押さえ木で土壌と密着させる。